

徳力校区の元気プラン

住民発！

徳力校区 小地域福祉活動第一次計画

令和6年度～10年度



ふれあいネットワーク

徳力校区社会福祉協議会

目 次

| | |
|---------------------------|----|
| 目 次 | 1 |
| ごあいさつ | 2 |
| 第1章 計画策定にあたって | 3 |
| 1 計画の性格 | |
| 2 計画の期間 | |
| 3 計画の策定経過 | |
| 第2章 徳力校区の現状と課題 | 4 |
| 1 地域社会の動向 | |
| 2 地域の福祉課題（及び小地域福祉活動計画の課題） | |
| 第3章 計画体系 | 5 |
| 1 基本理念 | |
| 2 基本目標 | |
| 3 実施項目（体系図） | 6 |
| 4 重点実施項目 | 7 |
| 住民同士のふれあい・交流を深めよう | |
| 地域を知り、防災に強いまちに変えていこう | |
| 第4章 計画の推進 | 9 |
| 徳力校区小地域福祉活動第一次計画策定委員会名簿 | 10 |

ごあいさつ

徳力校区の地域福祉活動に日頃よりご理解ご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

私たちの町「徳力校区」は小倉南区の北西部にあり、小倉北区と八幡東区に隣接しています。

校区内を紫川と志井川が流れ、校区の西側を国道322号線と北九州モノレールが縦貫しています。

かつては田園風景が広がっていましたが、1960年代後半からおよそ30年にわたり土地区画整理事業が行われ、近隣に大規模な住宅団地が造成されたことを契機に宅地造成が進みました。

小倉市街地に車やモノレールで15分程度で行くことができるなど利便性が高いため、子育て世代など若い世代の流入がある一方、長年地域に居住しているエリアや団地などでは高齢化が進んでいます。

徳力校区では、住民みんなが安心して暮らせるまちづくりを目指して、地域住民や社会福祉関係者が協力して地域福祉活動を進めてきました。

しかしながら、全国的に少子高齢化が進むなか、高齢者だけの世帯やひとり親家庭が増加し、地域における繋がりや支え合いが一層求められています。

このため、徳力校区においても地域福祉を担う各団体と課題を共有し、解決に向け住民主導による地域福祉活動に取り組むため、新しい小地域福祉活動計画を策定しました。

この計画を基に、住民主導による地域福祉活動に取り組んでいきたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

令和6年3月 徳力校区社会福祉協議会
会長 久留島 慶子

第1章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、徳力校区の様々な福祉課題を解決するために、住民や民間団体が将来の見通しをもって計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、徳力校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び北九州市社会福祉協議会、小倉南区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市及び北九州市社会福祉協議会、小倉南区社会福祉協議会の計画と連携しながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 徳力校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有します。

2 計画の期間

令和6年度から令和10年度までの5か年とします。計画の期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

徳力校区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関、団体等からの意見を踏まえ、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、徳力校区小地域福祉活動計画策定委員会を設置し、協議を重ねた結果、第一次計画を策定したものです。

第2章 徳力校区の現状と課題

1 地域社会の動向

徳力校区のデータ（令和4年9月末）

| | | | |
|----------|--|-------------|----------|
| 人 口 | 8,956人 | 小 学 校 | 徳力小学校 |
| 世 帯 数 | 4,355世帯 | 中 学 校 | 広徳中学校 |
| 高 齢 化 率 | 19.0% | 市 民 セ ン タ ー | 徳力市民センター |
| 年少人口割合 | 15.5% | 生産年齢人口割合 | 65.5% |
| その他社会資源等 | 北九州市立大学青嵐グラウンド、紫川河畔公園・グラウンド 蒲生八幡神社、大興善寺 | | |

徳力校区内にある蒲生八幡神社と大興善寺は、北九州市指定文化財（建造物）に指定されており、また徳力小学校は令和5年11月に創立150周年記念式典を開催するなど、徳力校区は歴史と伝統のある地域です。

徳力校区の高齢化率は区内で最も低く、年少人口割合は区内で3番目に高いなど若い世代の多い校区ではありますが、転入転出者も多く、若者世代の定住が課題でもあります。

2 地域の福祉課題(及び小地域福祉活動の課題)

徳力校区では平成8年度からふれあいネットワーク事業に取り組んでいますが、少子高齢化が進む一方、自治会などへの加入率の低下により、地域との繋がりが希薄化してきています。このような状況を受けて、福祉活動を進めていく課題としては、見守りが必要な人の情報が十分に得られていないという現状があります。

能登半島地震の教訓として、地震や災害は日本国内ではどこにでも起きる危険性があると言われていています。災害時や非常時には特に大切な「地域の連携」を強化するためにも、校区内で将来に向けた地域のビジョンを描き、福祉活動を充実することが求められています。

第3章 計画体系

1 基本理念

誰もが笑顔でイキイキと暮らせるまちづくり

徳力校区では、子どもから高齢者まで誰もが、住み慣れたところで安心して心豊かに生活できるまちにしたいと願っています。そこで「誰もがイキイキと暮らせるまちづくり」という言葉を計画の基本理念として、計画を推進していきます。

2 基本目標

(1) 福祉を学び合い、助け合いの心を広げよう

福祉活動の広報啓発や子どもたちへの福祉教育や体験などを通して、地域に福祉の風土を広げます。

(2) 住民同士の心のふれあい・交流を深めよう

地域交流の場所の設置やイベントなどを実施して、住民間の交流や繋がりを強めます。

(3) 地域を知り、防災に強いまちに変えていこう

地域住民が自分の住んでいるまちを知り、みんなで助け合い支え合いながら、誰もが安心して暮らせるまちにします。

(4) 地域の力を信じて、みんなでまちづくりに参加しよう

子どもから高齢者まで住民の主体的にまちづくりに参加することで、地域の活動力を強化します。

3 実施項目（体系図）

基本理念

誰もがイキイキと暮らせるまちづくり

基本目標 1

福祉を学び合い、
助け合いの心を広げよう

- ウエルクラブ活動の充実
- ボランティア体験学習の開催
- 社協出前講演などの活用
- 広報活動の拡充

基本目標 2

住民同士の
ふれあい・交流を深めよう

- 紫川ふれあいクリーン作戦の実施
- 世代間交流グラウンドゴルフ大会の実施
- 校区体育祭の開催
- さくらまつりの開催

基本目標 3

地域を知り、
防災に強いまちに変えていこう

- 災害指定地域などの現地確認
- 災害時連絡網の作成・活用
- 防災リーダーの育成
- 災害時の福祉救援体制づくり

基本目標 4

地域の力を信じて、
みんなでまちづくりに参加しよう

- 小中学校との連携
- バザーや朝市の開催
- 世代間交流会の開催
- 地域アドバイザーの活用

4 重点実施項目

| 重点実施項目 | 住民同士のふれあい・交流を深めよう | | | | | | |
|--|--------------------|-----|-----|-----|-----|-----|----------|
| 1 課題背景及び現状 | | | | | | | |
| <p>全国的に少子高齢化が進むなか、高齢者だけの世帯やひとり親世帯が増加し、地域におけるつながりや支え合いが一層求められています。</p> <p>徳力校区は子育て世代など若い世代と長年地域に居住している高齢者世代の地域交流、また世代間の交流が十分ではないという課題があります。</p> | | | | | | | |
| 2 活動方針・目標 | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・紫川ふれあいクリーン作戦の実施 ・世代間交流グラウンドゴルフ大会の実施 ・社協出前講演などの活用 ・敬老行事などの実施 | | | | | | | |
| 3 段階的な取り組みと年次計画 | | | | | | | |
| 取り組みの内容 | 連携する機関 | R 6 | R 7 | R 8 | R 9 | R10 | 備考 |
| 紫川ふれあいクリーン作戦の実施 | まち協 校区社協 自治会 | | | | | → | |
| 世代間交流グラウンドゴルフ大会の実施 | まち協 校区社協 自治会 | | | | | → | |
| 校区体育祭の開催 | 校区社協 行政 | | | | | → | |
| さくらまつりの開催 | 校区社協 行政 | | | | | → | |
| 点検・評価 | 校区社協 | | | | | → | 推進委員会が実施 |

| 重点実施項目 | 地域を知り、防災に強いまちに変えていこう | | | | | | |
|--|----------------------|-----|-----|-----|-----|-----|--------------|
| 1 課題背景及び現状 | | | | | | | |
| <p>昭和21年の大水害で紫川が溢水し、徳力校区は床上浸水の被害が多く発生しました。紫川の河川整備は進んでいますが、近年の線状降水帯などゲリラ豪雨が発生すれば大被害も予想されます。一方、避難情報の種類や意味、避難場所、災害時の危険な場所等が周知徹底されていません。</p> | | | | | | | |
| 2 活動方針・目標 | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・災害指定地域などの現地確認 ・災害時連絡網の作成・活用 ・防災リーダーの育成 ・災害時の福祉救援体制づくり | | | | | | | |
| 3 段階的な取り組みと年次計画 | | | | | | | |
| 取り組みの内容 | 連携する機関 | R 6 | R 7 | R 8 | R 9 | R10 | 備 考 |
| 災害指定地域などの現地確認 | まち協 校区社協 市民防災会 | | | | | → | |
| 災害時連絡網の作成・活用 | まち協 校区社協 自治会 | | | | | → | |
| 防災リーダーの育成 | まち協 市民防災会 | | | | | → | |
| 災害時の福祉救援体制づくり | まち協 校区社協 行政 | | | | | → | |
| 点検・評価 | 校区社協 | | | | | → | 推進委員会が 実施 |

第4章 計画の推進

1 地域への計画の承認と周知

- (1) 校区社会福祉協議会総会等を通じた社会福祉協議会活動者への計画の承認と周知
- (2) 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
- (3) 校区だよりなどを通じた校区住民への周知等、計画を推進していくために計画の広報活動を行います。

2 計画を推進するための体制

(1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、徳力校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、計画の進行管理を行います。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施 等について、委員会で協議を進めていきます。

(2) 計画の進行管理

徳力校区小地域福祉活動計画推進委員会を年 3 回程度開催し、当年度の事業推進の確認や年度内における中間確認、次年度の事業確認、また必要に応じて開催を行います。委員会ではPLAN(計画立案)・DO(実行)・CHECK(点検・評価)・ACTION(改善)というPDCAのサイクルを回しながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合には、その原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

(3) 計画の評価

計画区間の中間時点では計画全体の中間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

3 第2次計画の策定

第1次計画の推進状況を踏まえて、第2次計画の策定期間には新しく第2次計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。

徳力校区小地域福祉活動第一次計画推進委員会委員名簿

| | 役職 | 氏名 | 所属団体 役職 |
|----|-----|--------|---|
| 1 | 会長 | 久留島 慶子 | 徳力校区社会福祉協議会会長 徳力校区まちづくり協議会会長 徳力校区自治連合会会長 |
| 2 | 副会長 | 泉 日出夫 | 徳力校区社会福祉協議会副会長 徳力校区まちづくり協議会副会長 徳力校区自治連合会副会長 |
| 3 | 副会長 | 下川 文男 | 徳力校区社会福祉協議会副会長 徳力校区まちづくり協議会副会長 徳力校区自治連合会副会長 |
| 4 | 副会長 | 藤坂 邦彦 | 徳力校区社会福祉協議会副会長 徳力校区まちづくり協議会副会長 徳力校区自治連合会副会長 |
| 5 | 委員 | 田中 辰己 | 徳力校区老人クラブ連合会会長 徳力校区健康づくり推進委員会会長 徳力校区まちづくり協議会保健福祉部会長 |
| 6 | 委員 | 鳥井 敏彦 | 徳力校区民生委員児童委員協議会会長 |
| 7 | 委員 | 瓜生 資識 | 徳力校区体育委員会委員長 |
| 8 | 委員 | 上土井 靖人 | 徳力小学校校長 |
| 9 | 委員 | 平塚 豊和 | 徳力小学校PTA会長 |
| 10 | 事務局 | 渡邊 一司 | 徳力校区社会福祉協議会事務局会計 徳力校区まちづくり協議会事務局長 |
| 11 | 事務局 | 恵良 修次 | 徳力市民センター館長 |

徳力校区社会福祉協議会

〒802-0976 北九州市小倉南区南方二丁目 5-37 徳力市民センター内
TEL・FAX 093-963-0158

小倉南区社会福祉協議会

〒802-8510 北九州市小倉南区若園五丁目 1 - 2
TEL 093-951-5388 FAX 093-951-5391

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1 - 6 ウェルとばた内
TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579